

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編 研修概要	
研修目的	緩和ケアの重要性を理解し、がん患者と家族を全人的に捉えて緩和ケアを実践できる。
一般目標	1. 緩和ケアの基本となる概念を理解し、症状緩和や意思決定を支援するための基本的知識を習得する。 2. 多様な状況にあるがん患者を支援するための基本知識を習得する。
行動目標	1. がん患者と家族の全人的苦痛のアセスメントに必要な知識を習得できる。 2. がん患者・家族の心理を学び、コミュニケーションスキルを理解できる。 3. がん疼痛を緩和するための、看護援助を理解できる。 4. がん患者の生活を支える社会的支援や、退院・在宅療養支援に必要な看護を理解できる。
研修科目	別紙の研修科目を参照
対象者	以下の要件にすべて該当する看護師 ・ 実務経験 2 年以上 ・ 日本看護協会「看護実践能力習熟段階」Ⅱ 以上※ ・ e-ラーニングによる受講が可能 ※日本看護協会「看護実践能力習熟段階」に基づいた新人～Ⅳの 5 段階
募集人数	100 名 (先着順)
研修方法	e-ラーニング (オンデマンド配信) による講義
オンデマンド配信期間	2024 年 8 月 19 日 (月) 正午～9 月 17 日 (火) 正午
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、緩和ケアチーム医師および薬剤師など
修了要件	講義 e-ラーニング 全て受講、確認テスト合格
受講推奨環境	ブラウザは、Chrome、Firefox、Edge のいずれかが使用でき、MP4ファイルの動画の再生ができる環境をご用意ください。
受講料	無料 (通信料は自己負担)

がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎編 申込	
申込期間	2024 年 7 月 1 日 (月) 正午～7 月 22 日 (月) 正午 (定員になり次第、申込は終了します)
申込方法	2024 年度がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース基礎申込フォーム (下記 URL または QR コード) より入力してください。 https://forms.gle/UTBxaQ2Hva7i3owr7 
受講可否の送付	応募者全員に施設代表者を通じて、受講の可否を郵送で連絡します。 2024 年 8 月 16 日 (金) までに通知が無い場合は、問い合わせ先まで連絡してください。

2024 年度 がん看護研修Ⅱ緩和ケアコース 基礎編 研修科目

名古屋大学医学部附属病院

科目	内容	時間	講師
オリエンテーション	研修目的・目標について e-ラーニングによる受講の注意点	5 分	がん看護専門看護師 山本 陽子
緩和ケア概論	緩和ケアの定義と基本理念 トータルペイン（身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな苦痛）の理解	60 分	名古屋大学大学院 教授 佐藤 一樹
がん患者とのコミュニケーションⅡ	がん医療における悪い知らせ コミュニケーションスキル	60 分	がん看護専門看護師 原 万里子
がん患者の家族への援助	家族に及ぼす心理・社会的影響 家族のニーズ、家族が持つ問題 家族看護に関する理論の概要	45 分	原 万里子（再掲）
症状マネジメント 「がん疼痛」	がん疼痛のメカニズム、評価、治療	30 分	化学療法部医師 杉下 美保子
	がん疼痛の薬物療法	60 分	緩和ケアチーム 薬剤師 渡邊 美菜子
	がん疼痛のアセスメントと看護	30 分	がん性疼痛看護 認定看護師 宮嶋 真理
がん医療政策と社会的支援	がんの医療政策 がん医療に伴う経済的問題（治療費、就労問題など） がん患者・家族が活用できる社会資源	50 分	医療ソーシャルワーカー 森田 美妃 がん相談支援員 乾 由紀
がん患者の意思決定支援	患者・家族へのインフォームド・コンセント がん治療・療養過程における患者・家族の意思決定支援	70 分	山本 陽子（前掲）
がん患者の退院支援	退院支援の特徴とプロセス 退院支援・在宅療養支援に必要なアセスメント 活用できる診療報酬と社会福祉資源	30 分	訪問看護認定看護師 野島 祐子
がん患者の在宅療養支援	がん患者の在宅医療と訪問看護、在宅ケアの特徴 在宅療養におけるチームアプローチ 事例紹介	50 分	訪問看護ステーション太 陽・高蔵寺 訪問看護認定看護師 丹波 ちひろ